

1. 実施者の概要



○南海果工において、飲料品を生産。当該製造品を南海果工の倉庫から、大十の倉庫へ大十ロジスティクスが輸送する。その後、南海果工へ製造委託する事業者からの納品指示を受け、大十はピッキング、荷揃いし、大十ロジスティクスが大阪府堺市にあるセブン-イレブン向けメーカー共用デポ(物産ロジスティクスソリューションズ)の倉庫まで輸送。その後、セブン-イレブン向け共同配送センターへ輸送される。

○大十ロジスティクスは、大十の倉庫から、複数の小売、卸等の物流センターへ輸送するが、本パイロット事業では大阪府堺市にある物産ロジスティクスソリューションズのメーカー共用デポに輸送、その後共同配送センターを經由して、セブン-イレブン店舗の発注に基づき店舗に配送される。

2. 事業概要

取組内容

取組前

- 受付時間制によるため、特定時間帯(早朝)に車両が集中化し、待機時間が恒常的に発生
- 受付開始前から車両が待機しているため、午前中の早い時間帯に、待機時間が長時間化する傾向がある。

取組後

○特定時間帯の車両を分散化するために、**運送事業者の希望を踏まえた「時間指定制」によるバス接車許可ルールへ見直し**

- ・集中する車両を分散化し、待機時間の大幅な縮減を達成
- ・構内作業も、予め入庫する車両を把握することで、事前の段取り、準備ができ、効率化が図られた。
- ・入荷生産性 : 6.2%向上
- ・コスト削減 : リフトマン、警備員の人件費コスト等の削減

成果

取組前

受付時間制による待機時間: 平均55分(2016)

取組後

時間指定制による待機時間 : 平均31分(2017)
 待機時間の削減効果 : ▲43%
 予約実施率 : 97%(18/1/24~31)

3. 実態と課題、パイロット事業の取組方針

○納品先における待機時間を削減

実態と課題

- ・大十から納品先への輸送では、納品先における待機時間は長いケースから短いケースまで幅広く存在する
- ・納品先における荷受けに関する運用ルールの相違により、待機時間の発生にバラつきが発生している実態がある

↓

- ・待機時間が長い納品先では、「受付先着制」が採用されているケースが多いが、「事前予約制」の採用により待機時間の削減を図る
- ・待機時間削減に直結する事前予約制について検討を実施し、パイロット事業として整理する

パイロット事業の取組方針

- 納品先別に受付から荷卸完了までの時間がどの程度あるか、調査を実施
- 調査結果及び納品先における荷受けルールを関連させて分析を実施
- 「事前予約制(エントリー制)」を採用する納品先と、「受付先着制」を採用する納品先では、待機時間に大幅に差異があることが確認された
- 荷卸し許可について、「受付先着制」から「事前予約制」ルールに切替えて待機時間を削減し、横展開可能な取組エッセンスを整理

4. 事業内容

先着受付制

概要 ○納品先の事務所に受付完了した順番で、取卸作業の許可がなされる

期待される効果 ○着荷主側の運用が極めて容易であり、着荷主にはメリットが大きい。納品車両が増加すれば、待機時間が大幅に発生する仕組みである

イメージ図

- ・取卸バースに空きが出れば、待機車両に接車許可を出す
- ・待機車両は、受付時間が早い順からバース接車許可が出される。
- ・可能な限り早く受付をする必要がある。

取卸場所

取卸場所に空きバースが出たところで、バースへの接車許可が出る仕組み

- ・着荷主側での検品作業、倉庫格納作業に遅延が生じれば、待機時間は一層増加する仕組みである。
- ・受付時間順ルールは、運送事業者側にはメリットなく、積込み又は取卸しする荷主側のメリットしかない。

事前予約制

概要 ○遠隔手法(WEB、FAX、電話等)により、予め希望する取卸時間を予約し、当該時間に基づき取卸作業が許可される

期待される効果 ○着荷主側の運用能力が必要であり、ノウハウ、熟度が求められるが、待機時間が大幅に削減される効果を得ることができる

イメージ図

	Aバース	Bバース	Cバース
6:30			
7:00			
7:30			
8:00			
8:30			
9:00			
9:30			
10:00			
10:30			
11:00			

- 納品業者から、パレット数、荷姿、取卸方法、貨物量、業者名等の情報を予め報告させ、倉庫内作業の効率性を考慮し、希望時間を踏まえ、取卸作業の順序を着荷主が決定する。
- 事前予約制では、希望時間を受け入れてもらえるケースと、希望時間と大幅に相違するケースもある。
- 「事前予約制」が「時間指定」と相違する点は、納品業者の希望時間が考慮される点にある。

5. 結果

➤ 平均▲31分(▲43%)の縮減

6. 結果に結びついたポイント

➤ 物産ロジスティクスソリューションズにおけるバース接車ルールの変更とルール変更が有効に機能するために倉庫内作業の効率化を実施したこと